

神経難病の入院リハビリテーションのご案内



和歌山県立医科大学附属病院紀北分院

パーキンソン病などの神経難病は薬物療法を行いながらも年齢による老化や生活の変化によって生活活動（パフォーマンス）が低下することがよくあります。生活に不安をいだきながらも、「運動習慣をつけることができない」「リハビリの方法がわからない」といった方も多いかと思えます。紀北分院では令和7年7月にリハビリテーション棟が完成し、新しい施設でリハビリを中心とした体力や身体の使い方の訓練をはじめ、眼科や耳鼻科と連携した感覚器のチェック、神経内科専門医による面談やアドバイスなどを集中的に行う**神経難病リカバリー入院（入院リハビリテーション）**を提供いたします。

最近生活がたいへんになってきた

もうちょっと元気になりたいなあ

薬だけじゃ限界がありそうだ

家でのリハビリの方法を教えてほしい

自身でしている運動以上のことがしたい

このようなお気持ちの方は是非ご相談ください
(詳しくは裏面へ)



👉 対象（パーキンソン病の場合）

- パーキンソン病（ホーエン・ヤール重症度Ⅰ～Ⅲ度）
- 認知機能がほぼ正常
- 精神的に安定している（入院時のせん妄などのリスクがあるため）
- * 入院中の転倒リスクが高い場合は医療安全上お断りする場合があります。

👉 費用

- 保険適用による診療です。
- 難病医療費助成制度、後期高齢者医療制度などが利用可能です。

👉 入院内容

- 理学療法：身体機能の訓練
- 作業療法：日常生活動作の訓練
- 言語療法：発語・嚥下訓練
- 薬物治療：原則、現状の投薬内容を継続します。
※ 必要に応じて投薬内容を変更することがあります。

- * 主治医となる内科医の他、眼科、耳鼻咽喉科、整形外科とも連携し、視力、聴力、骨粗鬆症の程度などを評価し、ご希望に応じて白内障や難聴、骨粗鬆症の治療を行います。
万が一転倒などのアクシデントには、常勤の整形外科医や脳神経外科医が対応します。

👉 入院期間

- 十分な効果を実感いただくため、4週間の入院をお勧めします。
- 入院期間は相談の上、柔軟に対応いたします。

👉 その他

- 退院後はももとの主治医の先生のところへ通院ください。
- 約半年に1度、繰り返し入院リハビリを行うことで、持続的な効果が期待できます。

▶ 当院へのアクセス・連絡先

和歌山県立医科大学附属病院 紀北分院

分院長 岡田 由香

〒649-7113 和歌山県伊都郡かつらぎ町妙寺219

TEL/0736-22-0066(代) FAX/0736-22-2579

ホームページURL <http://www.wakayama-med.ac.jp/med/bun-in/index.html>

